

緒方町 小富士 地区

青丸⇒豊後大野市の平均と比較して結果がよかった項目
赤丸⇒豊後大野市の平均と比較して心配な項目（点線は少し気になる項目）

人口

◆人口・世帯数

人口 468人
世帯数 228世帯



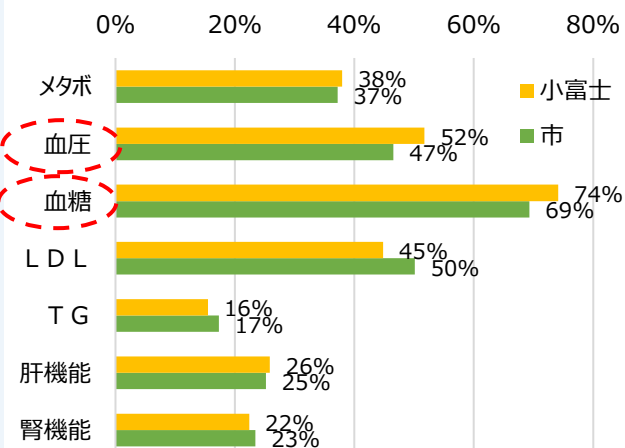
◆人口に占める高齢者の割合

65歳以上 63.9% (市全体 44.6%)
75歳以上 37.8% (市全体 25.6%)

豊後大野市内の25地区のうち人口は6番目に少なく、高齢化率は3番目に高い地域です。

健診 (国民健康保険：40歳～74歳)

◆健診有所見率(n=58)



市平均 44.1%

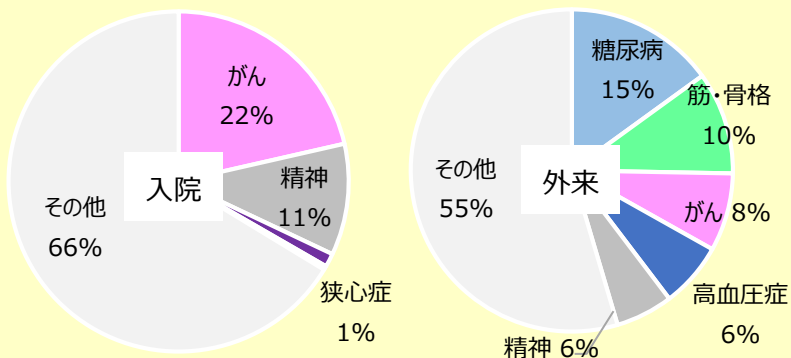
健診受診率 52.7% (市内25地域中1番目)

◆生活習慣 (健診時の質問票より) (n=58)

	小富士	市
たばこを吸っている	11.7%	12.2%
20歳時体重から10kg以上増加	43.3%	33.3%
人と比べて歩くのが遅い	61.7%	63.0%
人と比べて食べる速度が速い	26.7%	27.4%
間食を毎日とっている	15.0%	17.1%
週3回以上朝食を抜くことがある	3.3%	5.6%
お酒を毎日飲んでいる	40.0%	26.0%
睡眠が十分とれていない	16.7%	27.3%

医療 (国民健康保険：40歳～74歳 (n=112))

◆医療費に占める疾患の割合



入院医療費の約3割ががん、精神、狭心症です。

外来医療費は糖尿病、高血圧症などの生活習慣病が上位を占めています。これらの疾患は重症化すると、狭心症などにつながりやすくなるため、適切な治療とコントロールが大切です。

健診の結果から、高血糖、高血圧の人の割合が市の平均より、少し高い状況です。

健診時の質問票から、「20歳時体重から10kg以上体重増加」「お酒を毎日飲んでいる」と回答した人の割合が高くなっています。

過度なアルコール摂取は、高血糖、高血圧、体重増加につながり生活習慣病を悪化させてしまいます。

自分の体の変化に気づくためにも毎年、健診を受けましょう！



健診 （後期高齢者医療保険：75歳以上）

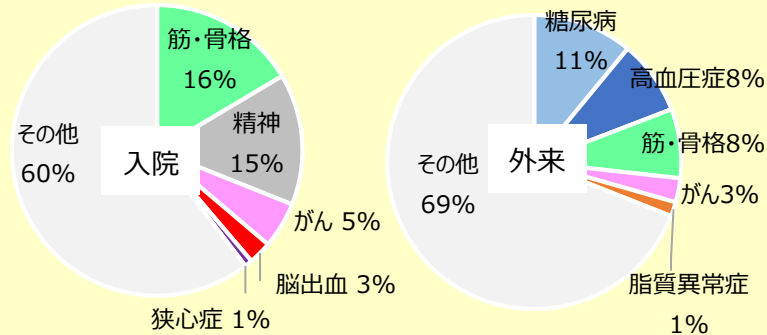
健診受診率 28.0%（市内 25 地域中 7 番目）

◆生活習慣（健診時の質問票より）（n=49） 市平均 21.6%

	小富士	市
健康状態がよくない・あまりよくない	4.1%	10.3%
お茶や汁物等でむせる	20.4%	21.2%
6ヶ月で2～3kg以上の体重減少あり	6.1%	12.4%
以前に比べて歩く速度が遅い	55.1%	60.3%
この1年に転倒あり	14.3%	19.6%
ウォーキングなどの運動習慣あり	53.1%	61.6%
同じことを聞くなど物忘れあり	12.2%	15.6%
週に1回以上の外出あり	83.7%	89.5%

医療 （後期高齢者医療保険：75歳以上）(n=179)

◆医療費に占める疾患の割合

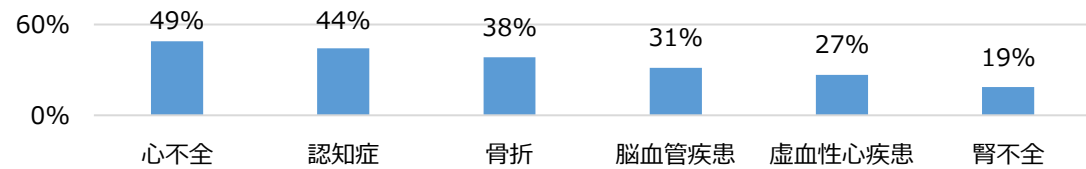


入院医療費では筋・骨格が最も多く、脳出血、狭心症も高くなっています。

これらの疾患は重症化すると、介護が必要になる可能性が高くなります。

外来医療費の上位を占める、糖尿病、高血圧症、脂質異常症を適切にコントロールすることで、重症化を予防できます。

◆介護認定を受けている方が罹っている疾患

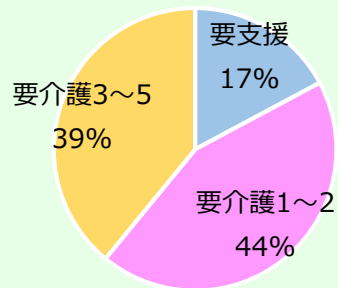


介護 （65歳以上）

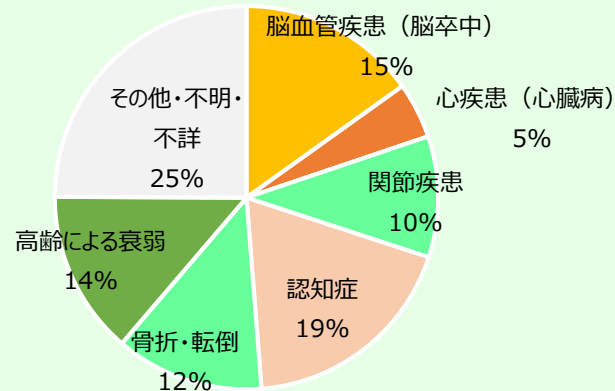
◆介護保険の認定を受けている人の割合

市平均 20.8%

21.7%（市内 25 地域中 14 番目）



◆介護が必要となった主な原因（全国統計）



資料：厚生労働省「国民生活基礎調査」（平成 28 年）

ワンポイントアドバイス！

～血糖値を良好に保つためのポイント～

1. バランスよく食べる（主食・主菜・副菜）
2. よくかんでゆっくり食べる
3. 1日3食規則正しく食べる
4. 野菜を最初に食べる
5. 甘い物やお酒はほどほどに



✳1日のお酒の適量（純アルコールで約 20g）

ビール 500ml/日本酒 180ml/ワイン 200ml/焼酎 100ml

【参考資料】 人口・介護）令和 4 年 3 月 31 日時点データより（高齢者福祉課作成）
介護度別疾病状況：DHP システム 高齢者フレイル経年票（令和 3 年度）
医療）MAP システム疾病分類別医療費分析～生活習慣病分類～（令和 3 年度抽出）

（健診）健診有所見：KDB システム保健事業介入支援管理～健診受診あり～（令和 3 年度抽出）
生活習慣：MAP システム質問票調査の状況（項目別）（令和 3 年度抽出）